

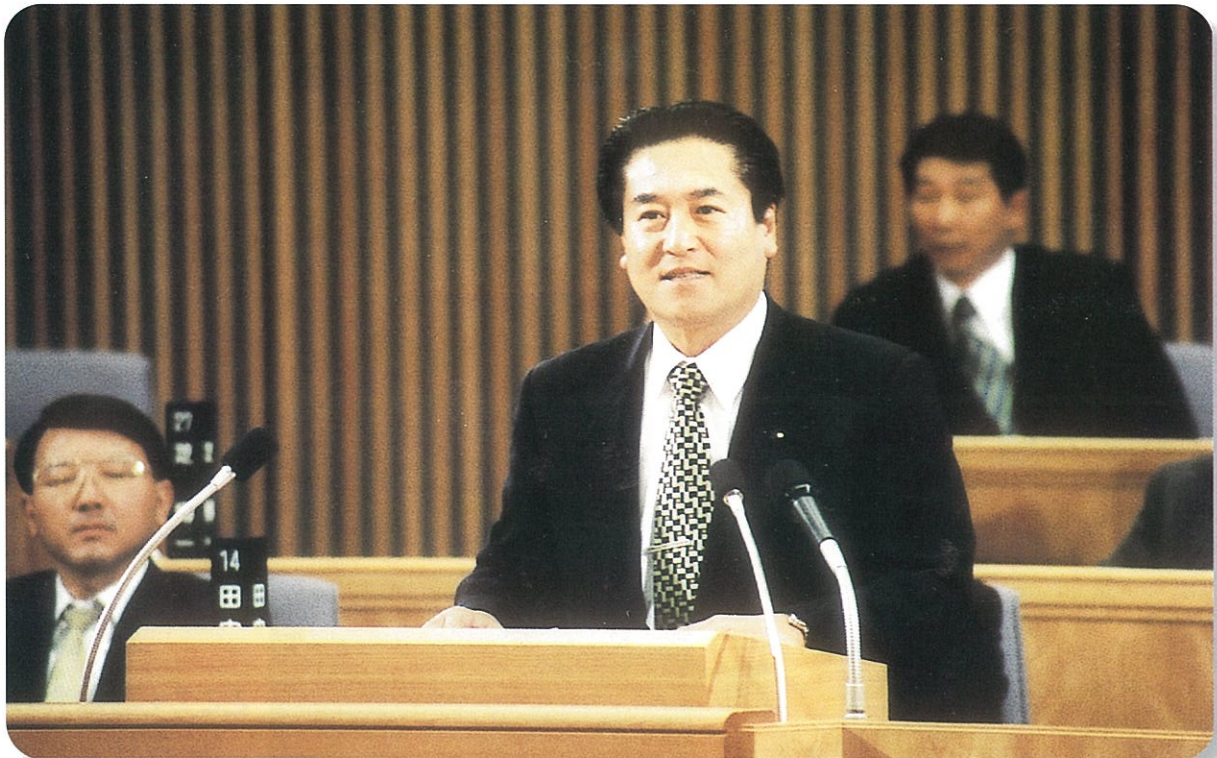
住みよい街づくり、なごみある三重県を目指して



2006.10 第5号

前野かずみ県政レポート

発行 平成18年10月
発行者 三重県議会議員 前野和美
編集 和み会(なごみ)
〒514-1105 三重県津市久居北口町438-31
TEL 059-254-6605 FAX 059-254-6606



ごあいさつ

県民の皆様におかれましては、益々ご健勝にてお過ごしのこととお慶び申し上げます。

県議会では第3回定例会(9月議会)が開催されており、本議会では一般質問に立たせて頂きました。沢山の皆さまに傍聴をして頂き、大変感謝を致しております。その内容につきましては紙面の裏に要約して記載させて頂きました、御一読下さい。

三重県議会は地方分権時代を先導する県議会を目指して、数々の議会改革に取り組んでいます。今議会中のテーマも、改革推進を推し進める議会基本条例を12月議会での制定に向け、議員間での調整を推し進めております。

他方では、皆様もご存知の議員不祥事件を真摯に受け止め、議員の規律や規範を作るべく、議会議員の政治倫理に関する条例の制定に向け取り組んでいます。

全力で県民の皆様への安全・安心・安定の県土づくり、福祉向上に積極的に取り組んでまいります。今後とも温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます、ご挨拶とさせていただきます。

前野かずみ

住み良い街づくり、**和み**と活力ある三重県政を目指して、前野かずみは行動します。**安全 安心 安定** ある三重県を目指して

人づくり教育の推進

不登校児童の数字は横ばいの状況で低学年化しています。教育は国家の基盤であり、国力を支える基本でもあります。教育現場では、いじめと犯罪に繋がる非行、すぐに切れる心の問題など、難問が山積みされています。こうした教育問題にも積極的に取り組んでいます。



子供農業体験(スローフード発祥の地、イタリアのブラド視察)
ファーストフードが氾濫する中、イタリアブラドのスローフード運動を視察して、食文化の大切さを再認識し、安全で安心な食文化教育を実現するため、農業体験を通じ子供達に、食べ物大切さや正しい食生活のあり方を学ばせ、農業の大切さと収穫のよろこびを体験しました。

スポーツ振興に

県民、一人ひとりが体力や目的に応じた多様なスポーツに取り組むための環境づくりが求められています。現在の県都、津市にあるスポーツ施設はいかがでしょうか。三重県行政の中心地であると誇れるものが無いのが現状です。地域の人たちが主体となって運営する総合型地域スポーツクラブの育成を支援するとともに、スポーツ施設の充実をはかります。



フェロシルト撤去現場

環境

榊原フェロシルト現地調査会 (H18年5月29日)

現地調査を行い、有害廃棄物フェロシルトの完全撤去の指導を行ない、18年8月3日に全面撤去を終了しました。後世に負を残さない為にも、産業廃棄物処分場の監視を怠らないよう努めてまいります。



フェロシルト撤去現場指示

文化

地域のコミュニケーション活動の推進に

古来、日本人は地域の和というものを重要視して、人間性のある近所付き合いを重んじてきました。現在はどうか、今、多くの方は日本人として無くしてしまったものの大切さを痛感しているのではないのでしょうか。日本人が古来より培ってきた日本人本来の社会を取り戻す為、スポーツ・文化を通じて隣近所の顔が見える、そんな地域のコミュニケーション活動に取り組んでいます。

地域振興のお手伝い

地域振興のお手伝いとして、榊原温泉マラソン顧問としてスタートの号砲を鳴らす栄誉をいただく。

教育・スポーツ



子供たちの運動能力低下の改善に

近年の子供の運動能力低下は85年度をピークに低下傾向が続いています。外で遊ばない、遊ばせない(T.Vゲーム・塾、等)環境が子供たちの体力を奪っています。スポーツを通じ運動の楽しさを学習させ、健全な体力と健全な精神を育む環境を整えます。

久居祭り 仮装大賞



みなさんのご支援ひとつひとつがわたしたちの財産です。

災害

台風21号災害調査 (H16年9月29日)

災害対策は単純に二分類されます。一つは災害が起きてからの復旧対策。もう一つは事前対策によって災害を未然に防ぐことです。復旧対策は勿論のこと、河川の改修、土砂崩れの事前対策など、災害を未然に防ぐことに重点をおき、天災が人災にならないよう努めてまいります。

防災・災害対策に

地球温暖化が叫ばれる中、近年では局地的に被害が集中する傾向が強まっています。加えて農地の放棄、宅地化、林地の荒廃に伴い、保水状況が悪化の一途をたどっています。農林地の保全とあわせて、地域の防災活動・災害対策に努めてまいります。

紀宝町 海岸・海砂の浸食視察とインドネシア津波災害視察

三重県は県の半分を海岸線が占めています。紀宝町の海岸・海砂の侵食について調査し、インドネシアスマトラ沖地震の被害調査を現地視察しました。現状で何が出来るかを考え、その対策実行に努めてまいります。



紀宝町(海岸・海砂)浸食視察



意見交換

どこでも討論会の開催

県会議員一期成のレインボー会によるどこでも討論会を開催し、参加して下さった方からの意見・質問などに答えさせていただき、身近な県政を目指しています。



皆様のご意見の代弁者である前野かずみに、お気軽にご相談ください。

女性リーダーとの会議

女性リーダー研修会において、県政についての講演を行い、地域女性リーダーの皆様の思いを聞き、大いに語り合いました。



地域の皆様方との意見交換会の実施

参加して下さった地域の皆様、ミニ県政報告会を行う。地域の要望をお聞きするとともに、意見交換を行い、活動に反映させる。



農業

アイガモ農法の現場視察

人と環境に優しいアイガモ農法を見学し、有機農法・環境問題・米のブランド化による取り組みを視察しました。

農業用水の保全と生物の棲む河川の再生

農業にとって水と太陽は欠かせない存在です、自然を大切に守ることが、すなわち水生生物の棲みやすい環境を作り出すことが、人間にとっても優しい環境となります。ごご当り前の昔ながらの自然に満ち溢れた河川の再生に取り組みます。自然との共生、緑、水に包まれたおいしい空気のある街づくりに取り組んでいます。



アイガモ農法視察



社会基盤整備

津市美杉町の須淵トンネル開通によって住民の皆様の便が一段とよくなりました。



久居・一志を結ぶ中川原橋の架け替え工事が地元で説明されました。

地震対策について

Q 三重県地震対策アクションプログラムのこれまでの成果と次期計画策定の考え方は

A 自主的な防災活動が展開されるようになり、防災無線の整備など応急対策の基盤づくりも事業を進めることができた。一方、住宅などの耐震化は進んでおらず課題、昨年度発表した「被害想定調査」で想定される被害を10年間で半減させる減災目標を掲げ、防災風土の醸成・応急体制の確立・被害の軽減の三本柱を今後4年間で取り組む行動計画を策定する。

看護職員の確保対策について

Q 24時間体制で働く看護職員用の院内保育所や病児保育所の設置について

A 離職防止の為、病院内保育所の運営などにも補助、小規模病院や診療所の「共同利用型病院内保育所」の設置を促進する。潜在看護職員に対しては、ナースセンターによる再就職の情報提示や研修を行う。

食育の推進について

Q 食育基本法が出来て三重県の食育に対する取り組みは

A 18年度11名の栄養教諭を配置し地産地消を生かした食育に取り組んでいる。来年度以降も各学校に栄養教諭を配置できるよう取り組んでいきたい。

県産材の利用促進について

Q 本年度で終了予定の県産材を利用した住宅建築への県補助はどのような効果があったのか、来年度以降の取り組みは

A 平成17年度で198戸、同18年度では予定を上回る300戸分の県産材の使用が見込まれ、補助を受けない住宅建築でも利用が進んでおり消費者の関心は高まり効果があった。より県産材の利用を加速させる為にも引き続き検討したい。

緑友会の皆様へ

三重県立久居農林高等学校同窓会、緑友会員の皆様におかれましては、仕事・社会活動とそれぞれの場面でご活躍の事とお慶び申し上げます。この度、緑友会のメンバーの一員である 三重県議会議員 前野かずみ君を、緑友会代表としてより一層政治活動に活躍してもらう為、支部長会に諮り総代会にて推挙し応援することに決定致しました。

緑友会の皆様には前野かずみ君へのご支援・ご協力をお願い申し上げます。

三重県立久居農林高等学校
緑友会会長 中林 博



緑友会
会長
中林 博

仲間として応援しています。
ご支援よろしくお願い致します。



衆議院議員
前厚生労働大臣
川崎 二郎



衆議院議員
総務副大臣
田村 憲久